

# 2020年3月期 連結業績見通し

代表取締役社長  
石黒 成直

# 2020年3月期 通期見通しのポイント

- 中長期的には、デジタルトランスフォーメーション、エネルギートランスフォーメーション潮流の加速により、エレクトロニクスビジネスが拡大する環境下において、事業機会獲得を狙う
- 短期的には、米中貿易摩擦、中国経済減速、Brexit等によるマクロ経済への影響が継続する前提に立ち、2020年3月期は中長期的成長のための施策を実行し、中期経営目標の達成に注力する
  - ↳ 受動部品、エナジー応用製品は前期から大きな成長を見込まず、磁気応用製品はHDD市場の需要回復が下半期以降になると想定し、確実に収益目標を達成する。
  - ↳ センサ、磁石等課題事業の確実な収益改善施策を実行し、全社収益改善を図る。
  - ↳ MLCC、非スマートフォン向け二次電池の競争力強化のため、継続的設備投資を実行する。

# 2020年3月期 連結業績及び配当金見通し

Attracting Tomorrow



	(億円)	2019年3月期 通期実績	2020年3月期 業績予想 (2019年4月発表)	業績予想対前期比	
				増減	増減率(%)
売上高		13,818	14,200	382	2.8
営業利益		1,078	1,200	122	11.3
営業利益率		7.8%	8.5%	+0.7 pt	-
税引前利益		1,156	1,180	24	2.1
当期純利益		822	840	18	2.2
1株当たり利益(円)		651.02	665.14	-	-
配当金		上期：80円 下期：80円 年間：160円	上期：90円 下期：90円 年間：180円	-	-
為替	対ドルレート	110.94	108.00	-	-
	対ユーロレート	128.48	122.00	-	-
固定資産の取得 (設備投資)		1,736	2,000	264	15.2
減価償却費		1,066	1,300	234	22.0
研究開発費		1,152	1,200	48	4.2

# 2020年3月期 通期連結売上高増減イメージ

(億円)

セグメント 区分	2019年3月期 通期実績	2020年3月期 通期予想 (対前年比)
受動部品	4,334	+2~+5%
センサ応用製品	765	+28~+31%
磁気応用製品	2,728	△17~△20%
エネルギー応用製品	5,375	+6~+9%
その他	616	—
<b>合計</b>	<b>13,818</b>	<b>14,200</b>

為替前提

為替レート \$/Yen

110.94

108.00

為替レート EURO/Yen

128.48

122.00

この資料には、当社または当社グループ（以下、TDKグループといいます。）に関する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価等といった、将来に関する記述があります。これらの将来に関する記述は、TDKグループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、TDKグループの将来の実績、経営成績、財務状態が、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なったものとなる恐れもあります。また、TDKグループはこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

TDKグループの主たる事業活動領域であるエレクトロニクス市場は常に急激な変化に晒されています。TDKグループに重大な影響を与え得る上記のリスク、不確実性、その他の要因の例として、技術の進化、需要、価格、金利、為替の変動、経済環境、競争条件の変化、法令の変更等があります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

また、本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、多くの数値は億円単位にて表示しております。百万円単位にて管理している原数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信及び補足資料を参照していただきますようお願いいたします。



決算説明会の質疑応答を含むテキスト情報は以下のページに後日掲載いたします。  
[https://www.jp.tdk.com/corp/ja/ir/ir\\_events/conference/2019/4q\\_1.htm](https://www.jp.tdk.com/corp/ja/ir/ir_events/conference/2019/4q_1.htm)